

# 生駒市保護司会だより

NO.4

## ～令和3年度活動報告～

発行 生駒市保護司会  
事務局 生駒市社会福祉協議会  
生駒市元町1丁目6番1号 0743-75-0234  
発行責任者 木村交作



## 令和3年度を振り返って

生駒市保護司会

副会長 上原 夏子

私たち一人ひとりがコロナ感染症対策を徹底し、日常生活を送っているにもかかわらず今年度も感染症が私たちの生活を脅かし続けています。

私たちの活動も前年度に引き続き主要な事業は中止となりましたが、リモート会議の新設等サポートセンターで新しい取り組みができました。このことは効率的な活動の推進、チームワークの活性化に役立つものと期待しています。

さて、例年7月に「社会を明るくする運動」が行われますが、小・中学生にこの運動の理解を深めてもらう意味から2年ぶりに「作文コンテスト」が行われました。今年度（令和3年度）は、1,957人の応募がありました。

ある中学生の作文に「犯罪や非行をした人に対して正直怖いと思う気持ちを持っていたけど、罪を犯した原因が絶対あると思った」と綴られていました。作文に取り組むことで深く考えて気づかれたのでしょうか。それぞれの子どもたちが課題を考える中、「書く」ということで表現し、そして周囲に伝わっていく。ひいては世の中が明るくなることにつながっていくのだと感じました。

一日も早くコロナ禍が収束し、私たちの活動も本来のかたちで実践できるように願っています。

## 令和3年度 奈良県更生保護事業関係者顕彰式典

10月19日（火）奈良県橿原文化会館大ホールにて顕彰式典が開催されました。今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、規模を縮小しての開催となりました。生駒市では、保護司会から6名、更生保護女性会から2名、法人運営協力者1名の方々が受彰されました。（敬称略）



## おめでとうございます

令和3年春・更生保護功績・藍綬褒章

幸元 淳子

全国保護司連盟理事長表彰

吉川 公祥

近畿地方更生保護委員会委員長表彰

城山 圭司

近畿地方保護司連盟会長表彰

小山 啓二

奈良保護観察所長表彰（功労）

黒田 八郎 中川 徳弘

奈良保護観察所長感謝状（更生保護女性会員）

西川 洋子 松井 利江子

奈良保護観察所長感謝状（法人運営協力）

幸元 淳子（協会）

よろしく願いします

新任保護司

寺本 計二

## 総務部会

総務部会は6名で業務を行っています。総務部会の仕事は、主として三本の柱で構成されています。

一つ目は、保護司の確保です。近年、保護司になっていただける方が大変少なく苦勞している状況です。他部の保護司の皆様も、確保に向けてのご協力よろしくお願いします。

二つ目は、保護司会だよりとサポートセンターだよりの制作です。皆さん、回を重ねるごとに制作上手になってきておられ、毎回の出来上がりが楽しみの一つとなって来ています。

三つ目は、サポートセンターの管理運営です。皆さんにお世話を頂いている相談業務の当番表作成や、県保護観察所への当番出席報告書の提出、管理に係る会計処理など、サポートセンター全般を支える仕事をさせて頂いているのが総務部会です。

保護司会とサポートセンターが、恒久的に続く形として、皆さんに和気あいあいと楽しく仕事を続けて頂くための、雰囲気づくりと場の提供が一番大切な責務と考え、日々努力をしているところです。これからもご支援ご協力よろしくお願いします。

総務部会長 米田秀一

## 研修部会

保護司は常に、自己啓発・スキルアップのため、経験年数や適性に応じ、各種の事例研修などを重ね、必要な技術の向上を図っている。

具体的には、実務上必要な地域別定例研修、専門的な知識・技術を修得する特別研修、テーマを定めての自主研修をベースに、更生保護女性会との合同研修、県外視察研修などを実施している。

更に、保護司新人研修においては、経験豊富な保護司OBの方々の力を借り、処遇の実務など、経験談を交えた講話など、アドバイザー役を担っていただいている。今年度の保護司新人研修には、新任保護司4名を含めて12名が参加した。



併せて、研修がその目的に照らし、十分な効果が上げられたか否かを検証するとともに、より良い研修実施に向け、行政・関係団体との折衝や意見交換など、部会員で役割を分担しながら、中味の充実した研修企画に取り組んでいる。

研修部会長 中畑光春

## 更生保護女性会

「コロナ禍で出来る活動を」ということで、更生保護マスコットのホゴちゃん・サラちゃんのぬいぐるみ作りに取り組みました。出来上がったぬいぐるみは、市役所内など公共施設に随時置いていただいています。

広く地域の人々に更生保護への理解と協力を得るため、また次代を担う子どもたちの健やかな成長への支援となるよう活動していきたいと思っています。

更生保護女性会会長 藪田順子



## 協力組織部会

協力組織部会は5名の編成になっております。

主な活動は、協力雇用主（就労支援事業者）との連携を強化・開拓し新しく幅広い業種の方々に登録していただくよう活動している部会です。

協力雇用主制度の必要性は、有職者28, 2% 無職者71, 8%と統計にも出ているとおり、犯罪や非行をした人が社会復帰した後、再犯をして再び収容された人の多くが、仕事をしていなかったということに分かります。

近年、初犯者の数は大きく減少しています。犯罪の抑止には、出所者の再犯を防ぐことが重要であるといえます。

これらの人への就労支援を効果的に実施し、再犯や再非行を防止するためには、協力雇用主（就労支援事業者）の方々の存在が不可欠です。

現在生駒市では、19の事業所が協力雇用主（就労支援事業者）として登録されています。

この2、3年はコロナ禍の関係で、保護司と協力雇用主（就労支援事業者）の関係（連絡）が疎遠になっており憂慮しております。

今後コロナ禍も終息に向かっているれば、就労支援事業者との連携を密にするとともに、幅広い業種の方々に登録していただくよう活動したいと思っています。



協力組織部会長 城山圭司

## 犯罪予防活動部会

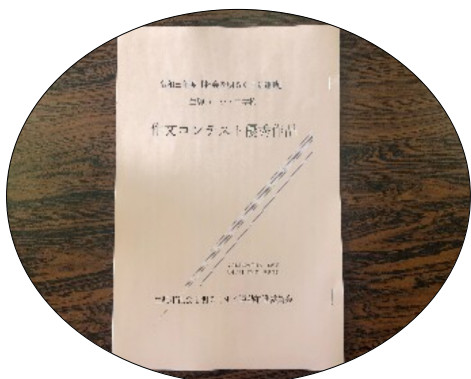
犯罪予防活動部会は6名で、主に「社会を明るくする運動」に携わっています。その一環として、作文コンテストを実施するため、各小中学校の児童や生徒に作文応募のご協力を校長先生を通してお願いしています。

目的は、作文を通じ青少年の健全育成と犯罪のない地域社会を目指しています。小学校12校と中学校8校へ、各担当保護司が作文の依頼と回収に行きます。回収した作文は、犯罪予防活動部会で各担当者に振り分けて第1次審査をしています。

最終審査は、会長をはじめ各部長と犯罪予防活動部会メンバー等で作文を数回読み直し、小学校で3作品・中学校で3作品を選出し、奈良県推進委員会に推薦しています。個々の作文には、自分の経験や体験を交えながら、社会生活での基本や模範が述べられており、作文を読むたびにいつも心をうたれます。

毎年、新たな作文を読むのが、我々の楽しみにもなっています。選考した作文が、県や全国に推薦され、賞を獲得するたびに、感動を与える作品であったと自負しながら、来年も頑張るという気持ちにさせられます。

学校への感謝の気持ちとして、「作文コンテスト優秀作品集」を発刊し、今後も各学校へ配布したいと思っています。



犯罪予防活動部会長 吉川公祥



# 令和3年度 活動報告

## 令和3年

- 4 月 8日 (木) 部会長会 役員会
- 4 月 22日 (木) 総会
- 6 月 2日 (水) 総務部会 協力組織部会
- 6 月 3日 (木) 研修部会 犯罪予防活動部会
- 5 月～6 月 「社会を明るくする運動」ポスター配布
- 6 月 30日 (水) 「社会を明るくする運動」幟旗・横断幕設置
- 7 月 1日 (木) 市内巡回パトロール
- 7 月 15日 (木) 第一回統一研修会 「アセスメントに基づく保護観察（CFP）について」  
部会長会
- 7 月 30日 (金) 市内巡回パトロール 幟旗・横断幕撤去
- 8 月 5日 (木) 第二回統一研修会 「面接（来訪・往訪）について」
- 8 月 16日 (月) 保護司新人研修
- 8 月 26日 (木) 社明作文選考
- 10月 7日 (木) 部会長会 役員会
- 10月 19日 (火) 奈良県更生保護事業関係者顕彰式典



総会風景



## 令和4年

- 1 月 14日 (金) 県外研修 中止
- 1 月 18日 (火) 部会長会 役員会
- 1 月 19日 (水) 第三回統一研修会 「転居・旅行の手続きについて」
- 3 月 17日 (木) 自主研修会・更生保護女性会合同研修会

「性の多様性を知る～誰もが自分らしくいける社会のために」



藍綬褒章受章



研修会

## 第71回 “社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

7月は、“社会を明るくする運動” 強調月間・再犯防止啓発月間です。

“社会を明るくする運動” はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くための全国的な運動です。



作文選考